

公的医療保険制度を題材としたモデル授業①（案）（1時間目）

○授業の目標

- ・ 人生には様々なリスクが潜んでいることを理解する。
- ・ 社会保障がリスクに対して国民全体で支え合う制度であることを理解する。
- ・ 各自が必要と考える社会保障制度について考えを整理し、意見を構築する。

指導過程	学習内容	学習活動	学習支援 (指導上の留意点)	資料など	教材
導入 ① (10分)	・ 社会保障全体について考える。	・ 社会保障制度の全体像について考えてみよう。	<p>社会保障制度の全体像について考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一生の間にどのような社会保障を受ける可能性があるかを各自で考えてみる。 <p>【理解してほしい内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私たちの安定した生活に欠かせない社会保障制度。日々の「安心」の確保や生活の「安定」を図るための制度であり、一生を通じてわたしたちの生活を支える役割を担っている。 ・ 日本の社会保障制度には社会保険（◇医療・年金・介護等）に加え、社会福祉（☆児童手当、障害福祉サービス等）、公的扶助（○生活保護等）、公衆衛生（□感染症対策・保健事業等）がある。 ・ 社会保険は、全ての人々が生活のリスクを分かち合うため、法律で対象者を定め加入を義務付けている。保険料の金額は原則、賃金などの拠出能力に応じて決まる。（必要な保険料を拠出していないと必要な時にサービスを受けることができ 	<p>私たちの生活と社会保障</p> <p>※外部講師の活用の際はオンライン会議を積極的に活用。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンクエスション 社会保障制度が存在しなかった場合、私たちの生活はどういったものになるかを考える。 ・ ワークシート形式 ライフイベントごとに対応する社会保障制度を穴埋め形式で学ぶ。 ・ 外部講師の活用 年の近い卒業生（出産、子育て、医療、介護で社会保障を享受した体験を話してもらう。）、各国の大使館（各国の社会保障制度について聞く。）へのインタビ

			ない。低所得者には保険料の減免を実施。)		ユー。 ・映画の視聴 社会保障全般を題材に扱った「家族を想うとき」や、アメリカの医療保険制度について扱った「シッコ」等の映画を視聴する。
導入 ② (15分)	・ 公的医療保険制度の仕組み	・ 健康保険被保険者証（保険証）の役割から、医療保険の仕組みを知ろう。	・ 保険証を示すことで、国民誰もが原則3割自己負担で医療を受けられること、保険料をプールしている仕組みなどの知識を整理させる。 ・ 原則3割自己負担であることに加え、高額な医療費がかかった場合でも、上限を定めて現実的な負担で済むこと高額療養費の自己負担以外の部分は保険財源で負担していることを理解させる	・ 公的医療保険の仕組み https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryohoken/iryohoken01/index.html https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf	・ ワークシート形式 窓口で保険証を提示した場合支払う金額は。 ①突然高熱が出たあなた。近くの病院の内科でインフルエンザB型と診断され、薬も含めて治療代は全部で1万円になった。 ②マラソン中に転倒し大腿骨骨折の大ケガ。手術をして1ヶ月入院。治療代は全部で150万円になった。
展開 ① (5分)	・ 医療サービスを受けるこ	・ 医療機関にかかった時のことを思い出してみよう。	・ 診療内容と費用という答えがでたら、1点10円でいくら医療費がかかったかを		・ 医療費領収書

	と	窓口でお金を支払って受け取った医療費領収書からどんなことが分かるか。	<p>確認させる。実感よりも医療費が高いことに気づかせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己負担額と保険給付額について意識させ、「保険給付」がどこから出ているかを問う。 		
展開② (10分)	・国民皆保険制度の重要性	・国民皆保険である必要性について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・各年齢階級における医療費を個人で負担できるかを考えさせる。 (高齢になるにつれ、医療費は増大していく傾向にあること。一方、若いうちも医療費はかかっていること。) ・国民皆保険制度では所得や個人が抱えるリスクを問わず、いつでも、だれでも医療が受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯医療費 https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf 	
まとめ(5分)	・共助	・共助の大切さを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも年をとるし、現在の健康状況、年齢に関係なく、いつでも予期しないライフイベントに直面することがあるため、公的医療保険制度（共助の仕組み）が極めて大切であることに気付かせる。 		

公的医療保険制度を題材としたモデル授業①（案）（2時間目）

指導過程	学習内容	学習活動	学習支援 (指導上の留意点)	資料など	教材
導入 (3分)	・ 前回の振り返り	・ 公的医療保険制度（共助のしくみ）が極めて大切であることを振り返る。	・ 公的医療保険制度が大切である一方、医療費が増大していることを伝える。		
展開 ① (9分)	・ 日本の公的医療保険制度の課題	・ 少子高齢化における医療費の増大について知る。	・ 1時間目の展開②で取り上げた様に、高齢になるにつれ、一人当たりの医療費が増大する傾向にあることを取り上げる。少子高齢化の進行により、日本全体の医療費も年々増加している。	・ 平成30年度 国民医療費の概況（図1） https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/18/dl/kekka.pdf	
展開 ② (15分)	・ 公的医療保険制度の課題に対して、私たちができること	・ 上記で公的医療保険制度の持続可能性について課題があることを理解した上で、限りある医療資源の使い方について、個人として何ができるかを考える。	・ 健康に気を付ける。 ・ かかりつけ医に相談する。 ・ 過剰な病院受診（ハシゴ受診）を控える。 ・ ジェネリック医薬品を活用する。 ・ 湿布薬、うがい薬、保湿剤など市販薬で代替できるものは、市販薬を購入する。	・ 健康保険連合会 https://www.kenporen.com/health-insurance/basic/04.shtml ・ 上手な医療のかかりかた https://kakarikata.mhlw.go.jp/ ・ 生涯医療費 https://www.mhlw.go.jp/content/12401000/000688664.pdf	
展開 ③	・ 公的医療保険制度の課題	・ 公的医療保険制度を維持するために、社会として何ができるかを考え	様々な意見が出るよう工夫・支援しつつ、出てきた意見について議論し、国民		

	<p>に対して、社会全体としてできること</p>	<p>る。</p>	<p>全体での議論の必要性を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保険料や自己負担割合を見直す。 ・ 市販薬で代替できる薬については、保険適用を見直す。 ・ 医療費の伸びを、経済の伸び率などの一定の範囲に収めるよう調整する。 		
<p>まとめ (3分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的医療保険制度の課題について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習を踏まえ、公的医療保険制度の課題を理解し、当事者意識を持って考えていく必要があることを伝える。 		